

最後に出てきたネズミを見えなくなるまで追って見ています。ネズミが見えなくなると絵が出てくる方に注目して出てくるのを期待しています。活動終了後は、力が抜け、表情が緩む様子から集中して楽しめたと感じました。



他の利用者に歌いかけている歌を良く聞いている様子がありません。Aさんに、「あなたがたくさん」の「さ」の部分で、タッチングを加えて歌いかけます。始めの1フレーズは、ニコニコし、集中していませんが、徐々に口をすぼめ、集中し歌を聞いています。表情になります。「せんばやまには」のタッチングまでの長いフレーズになると、目を動かさずじっと歌を聴き、

タッチングを待っています。歌のリズムとタッチングが合うことを楽しんでいました。おもしろい言葉と擬音語のある絵本を楽しむ活動では、「にゆるべろりん」の読み聞かせを行いました。絵本を見せると挿絵に視線が移ります。読み始めると口をすぼめ集中した表情になり、「にゆるにゆるにゆる、べろりん」の「べろりん」を聞いて表情が緩みます。そこで一旦集中はされませんが、ページをめくり再び読み始めると表情が戻り、「にゆるにゆるにゆる、ぶー」の「ぶー」で再び同様に表情が緩みます。言葉を集中して聞いていて、繰り返す擬音語と最後に来る擬音語の違いを感じとり、楽しんでいようです。



夏期デイケアを 宇野 千恵 終えて

夏期デイケアは、特別支援学校在学中の児童を対象とした夏休み限定のデイサービス

です。学校が長期の休みでも、活動的に過ごせる場を提供する目的で行っています。今年度は39名の子どもたちが週2回ずつ参加しました。1日に12〜15名くらいの子どもたちがおり、2つのグループに分かれて過ごしました。



始めは少し緊張気味だった子も、目を追うことにスタッフとの関わりを深めている様子がありました。一緒に工作をしたり、ボールを投げて遊んだり、手遊び歌を一緒に行ったりと、リラックスタ様子で関わりを楽しむようになりました。

夏期デイケアでは、ボールスライダー、エアトランポリン、カラースーツ、大型絵本、ボーリング、スイカ割りなど

の遊びを提供しました。エアトランポリンでは、ゆつくりとマットを上下させていくと体全体で揺れを感じ、楽しんで様子が変わります。トランポリンの準備をしていると自ら移動してきて、早く始めてと言うように、まだ空気が入っていないマットの上ののって待っている子どもいました。

絵本の読み聞かせはちょっととした時間に個別に行うことが多いのですが、それだけではなく、大型絵本を使い、同時に何人かの子達に向けて読み聞かせもしました。読み始めるとそれまで声を出していた子たちが、耳を澄ませるようになり静かになりました。読み終わった。読み終わると一息ついたような声が聞こえました。2冊目が始まると再びじっと聞く様子が見られました。

スイカ割りは、緩やかなスロープからスイカを転がして割るようになりました。台の上に置いたスイカを子どもたちが押すと、スイカはころころとスロープを転がって下に落ちました。はじめはなかなか割れないスイカも、3度、4度と転がるうちにひびが入り、最後にはぱっくりと赤い実が見えました。「わあっ」というスタッフの声とともに、子

どもたちの楽しそうな笑い声が上がりました。また自力移動ができる子は、毎日水遊びを行いました。早く入りたいと、自分のかばんから水着を出そうとしたり、午前中に入ったのにもう一度入りたいと訴えたりする子どもいました。水の中ではゆつたりと手足を動かしている子、バシャバシャと激しく動いている子など、それぞれに楽しんでいる様子がありました。

